Lovely Rita　ラブリー・リタ (2001)

LOVELY RITA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ドイツ／オーストリア
色彩 Color
時間 80分
初公開日 2004/03/27
公開情報 ビターズ・エンド

【キャッチコピー】
私のコト、可愛いって言って。

大人でも子供でもない、あやふやな年頃。
少女は無邪気に、嘘をつく――

【解説】
　大人でも子供でもない微妙な年頃を生きるひとりの少女の日常を淡々と、かつ繊細に綴った思春期ドラマ。本作で劇場長編デビューとなる女流監督ジェシカ・ハウスナーが、退屈な日々の中で内に秘めた複雑な感情を持て余し、徐々に壊れ始め、いつしか限界点に達していく少女の姿を斬新なカメラワークで鋭利に切り取る。2001年カンヌ国際映画祭ある視点部門出品作。
　オーストリア、ウィーン郊外の住宅地。少女リタは両親と３人で何不自由なく暮らしていた。だが彼女は、毎日学校に行き、時々ベビーシッターのバイトをし、寝食を繰り返すという単調な生活のリズムにウンザリしている。その気持ちは顔に表われ、常に不機嫌な顔をしているために、いつも父から怒られるリタ。そんな彼女は最近、通学バスの運転手に恋心を抱いていた。そしてバスの中にわざと忘れ物をするなど、彼の気を惹くための様々な策を講じたリタは、ある日ついにデートに誘われ、一緒にディスコで楽しむのだったが…。

【クレジット】

監督	ジェシカ・ハウスナー	Jessica Hausner	
製作	フィリップ・ボベール	Philippe Bober	
	ハインツ・シュトゥサック	Heinz Stussak	
	アントニン・スヴォボダ	Antonin Svoboda	
脚本	ジェシカ・ハウスナー	Jessica Hausner	
撮影	マルティン・ゲシュラハト	Martin Gschlacht	
出演	バーバラ・オシカ	Barbara Osika	リタ
	クリストフ・バウアー	Christoph Bauer	
	ペーター・フィアラ	Peter Fiala	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.